

6 市場事業

(1) 事業数

令和3年度における市場事業の事業数は、下記の7事業9施設で、いずれも法非適用事業であり、前年度と同数となっている。

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (6事業7施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
	南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)

(2) 施設の利用状況

年間取扱高は46万7,515tで、前年度に比べ2万7,533t(5.6%)減少している。その内訳は、青果物が14万2,300t、水産物が30万3,161t、食肉・鶏卵・その他が2万2,054tとなっている。前年度に比べ青果物が1万4,612t(9.3%)、水産物が1万2,434t(3.9%)、食肉・鶏卵・その他が487t(2.2%)それぞれ減少している。

年間売上高は1,939億2百万円で、前年度に比べ32億79百万円(1.7%)増加している。その内訳は、青果物が361億74百万円、水産物が1,279億83百万円、食肉・鶏卵・その他が297億45百万円で、前年度に比べ青果物が29億53百万円(7.5%)減少し、水産物が50億80百万円(4.1%)、食肉・鶏卵・その他が11億52百万円(4.0%)それぞれ増加している。

また、市場関係業者数は卸売業者12社、仲卸業者142社、売買参加人が1,322人、関連事業者が41人となっている。

第1表 利用状況の推移

項目		年度		H29		H30		R1		R2		R3		対前年度比較	
		H29	構成比 (%)	H30	構成比 (%)	R1	構成比 (%)	R2	構成比 (%)	R3	構成比 (%)	b - a	(c/a) ×100(%)		
取扱高(t)	青果物	172,120	32.6	165,072	31.9	162,412	32.9	156,912	31.7	142,300	30.4	▲14,612	▲9.3		
	水産物	333,810	63.1	330,339	63.7	309,462	62.7	315,595	63.8	303,161	64.8	▲12,434	▲3.9		
	食肉・鶏卵・その他	22,686	4.3	22,787	4.4	22,038	4.5	22,541	4.6	22,054	4.7	▲487	▲2.2		
	計	528,616	100.0	518,198	100.0	493,912	100.0	495,048	100.0	467,515	100.0	▲27,533	▲5.6		
売上高(百万円)	青果物	44,810	20.6	41,936	20.3	41,250	21.4	39,127	20.5	36,174	18.7	▲2,953	▲7.5		
	水産物	141,508	65.0	134,732	65.2	123,507	64.0	122,903	64.5	127,983	66.0	5,080	4.1		
	食肉・鶏卵・その他	31,435	14.4	30,059	14.5	28,262	14.6	28,593	15.0	29,745	15.3	1,152	4.0		
	計	217,753	100.0	206,727	100.0	193,019	100.0	190,623	100.0	193,902	100.0	3,279	1.7		
業者数	卸売業者(社)	15	-	14	-	14	-	13	-	12	-	▲1	▲7.7		
	仲卸業者(社)	149	-	149	-	145	-	143	-	142	-	▲1	▲0.7		
	売買参加人(人)	1,502	-	1,439	-	1,380	-	1,347	-	1,322	-	▲25	▲1.9		
	関連事業者(人)	41	-	42	-	42	-	42	-	41	-	▲1	▲2.4		

(注) 青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」をいう。

(3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は29億67百万円で、前年度に比べ22百万円(0.7%)増加しており、総費用は23億75百万円で、前年度に比べ12百万円(0.5%)増加している。この結果、収支差引では5億92百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が10百万円(1.7%)増加している。

また、資本的収支における収入は18億49百万円で、前年度に比べ6億34百万円(52.2%)増加しており、支出は24億31百万円で、前年度に比べ6億12百万円(33.6%)増加している。この結果、収支差引では5億82百万円の赤字となり、前年度に比べ赤字が23百万円(3.8%)減少している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は10百万円の黒字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は5百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が2百万円(67.2%)増加している。

なお、収益的収支比率は86.4%で、前年度に比べ1.4ポイント低下している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度	H29	H30	R1	R2	R3	対前年度比較	
								b - a	(c/a) ×100
					a	b	c		
収 益 的 収 支	収 入	総 収 益 A	2,954	2,892	2,915	2,945	2,967	22	0.7
		営 業 収 益	1,870	1,849	1,752	1,787	1,859	72	4.0
		う ち 料 金 収 入	1,848	1,830	1,733	1,768	1,839	72	4.1
		受 託 工 事 収 益	0	0	0	0	0	0	-
		ち そ の 他	22	19	19	20	20	0	0.6
		営 業 外 収 益	1,084	1,043	1,162	1,158	1,108	▲50	▲4.3
	支 出	う ち 他 会 計 繰 入 金	647	537	723	722	680	▲42	▲5.8
		総 費 用 B	2,409	2,387	2,411	2,363	2,375	12	0.5
		営 業 費 用	2,148	2,217	2,264	2,200	2,246	46	2.1
		う ち 職 員 給 与 費	376	371	389	364	359	▲5	▲1.4
		営 業 外 費 用	261	170	147	164	129	▲34	▲21.0
	う ち 支 払 利 息	180	159	140	124	111	▲12	▲10.0	
	収 支 差 引 (A-B) C	545	505	504	582	592	10	1.7	
資 本 的 収 支	収 入	資 本 的 収 入 D	1,953	1,336	997	1,215	1,849	634	52.2
		地 方 債	1,251	709	478	778	1,129	351	45.2
		他 会 計 繰 入 金	511	507	475	435	468	33	7.6
		工 事 負 担 金	0	0	0	0	0	0	-
		国 ・ 県 補 助 金	190	117	42	0	251	251	皆増
		そ の 他	0	2	2	3	2	▲0	▲12.9
	支 出	資 本 的 支 出 E	2,495	1,840	1,500	1,820	2,431	612	33.6
		建 設 改 良 費	1,452	831	522	822	1,368	546	66.5
		地 方 債 償 還 金 e	1,030	1,004	976	994	1,061	67	6.7
		そ の 他	13	5	2	4	2	▲1	▲36.1
	収 支 差 引 (D-E) F	▲542	▲504	▲503	▲605	▲582	23	▲3.8	
	収 支 再 差 引 (C+F) G	3	1	1	▲23	10	33	-	
	積 立 金 H	2	7	4	4	4	0	0.0	
	前 年 度 か ら の 繰 越 金 I	10	10	5	31	4	▲27	▲87.7	
	前 年 度 繰 上 充 用 金 J	0	0	0	0	0	0	-	
	形 式 収 支 (G-H+I-J) K	10	5	1	4	9	6	146.7	
	翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L	0	0	0	1	5	4	-	
	実 質 収 支 (K-L)	10	5	1	3	5	2	67.2	
う ち	黒 字	10	5	1	3	5	2	67.2	
	赤 字	0	0	0	0	0	0	-	
	職 員 数	50	45	49	60	60	0	0.0	
	収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)	85.9	85.3	86.1	87.7	86.4	▲1.4	-	